

## 平成30年度 南区長マニフェスト

南区長 渡辺 稔

## マニフェスト

現在の南区は人口減少と高齢化が急速に進行し、地域の最重要課題となっており、地域防災力の強化や超高齢社会への対応、子育て支援などとともに喫緊の課題である地方創生に向けた取り組みを実施します。

さらに、南区には、豊かな大地の恵みである「食と花」、長い歴史に培われた伝統文化や匠の卓越した技など、多くの「地域魅力」があることから、今まで培った地域力を活かした取り組みを推進することで、区ビジョンまちづくり計画に掲げた区の将来像『大地の恵みと伝統・文化にはぐくまれた郷土愛にあふれる、いきいきと暮らせるまち』の実現を目指します。

この方針のもと南区は以下の4つの取組を重点的に実施します。

1. ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまちづくりを推進します。
2. 誰もが快適に移動できる交通の利便性が高いまちづくりを推進します。
3. 農商工の連携が、新たな活力を生み出すまちづくりを推進します。
4. 大風が無い、獅子が跳ね、ル レクチュエが実るまちづくりを推進します。

## マニフェスト実現に向けた取り組み

## 1 ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまちを目指します。

現状 (課題)	<p>区民の防災意識は高く自主防災組織は市内でもトップクラスの結成率ですが、災害時に機能する自治会単位の要援護者支援や避難所運営など、地域の防災力向上に向けた活動の推進が必要となっています。また、市民協働により、今まで培った地域力を活かした取り組みが求められています。</p> <p>超高齢社会を迎え、医療施設や介護施設の受け入れに限りがある中、在宅医療の支援体制について整備が求められています。また、子育て中の保護者の孤立化と育児不安・ストレスなどの問題が発生しています。さらに、障がい者の就労環境は厳しい状況であり、障がい者施設の健全運営のための課題も多くあります。</p>
	<p><b>目標</b></p> <p>平成34年度までに区ビジョンまちづくり計画に掲げた「安心して、快適に暮らすまちづくり」、「誰もが健康でいきいきと生活できるまちづくり」、「区民や地域が主役となるまちづくり」に向けた取り組みを進めます。</p>
課題解決策	<p>災害発生時の実効力を高めるため、避難所運営マニュアルの見直しを図ります。</p> <p>災害時には地域との連携がスムーズに機能することが重要であることから、総合防災訓練と同時に実施する児童・生徒への呼びかけなど地域を挙げて行う自主防災組織の訓練に対して専門家を派遣するなどの支援を行い、総合防災訓練を通じて区民と共に減災に向けたまちづくりを進めます。併せて、中・高校生徒を対象とした防災ボランティア講座や防災教室の開催を通じて、若い世代の防災意識の向上に取り組みます。</p> <p>空き家対策については、地域団体や市協定団体などと情報を共有しながら、空き家の適正管理と利活用について検討を進めます。</p> <p>人口減少・超高齢社会への対策として、健康寿命延伸に向けて、特定健診受診率向上を目指し、地域と連携してミニドック型集団検診を実施します。さらに、地域における高齢者の元気な暮らしを支えるための仕組みづくりや子育て支援を進めます。</p> <p>障がい者施設が南区産農産物を使って開発した商品の販売に向けた取組みなど、障がい者の自立を支援します。</p>

<b>主な取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合防災訓練の実施</li> <li>・ 自主防災組織の訓練実施</li> <li>・ 空き家対策プロジェクト</li> <li>・ 特定検診受診率の向上</li> <li>・ 地域包括ケアシステムの構築</li> <li>・ 子育て支援リーダーの育成</li> <li>・ 障がい者の自立支援</li> </ul>
-------------	---

<b>取組結果</b>	<b>主な取組の指標達成状況</b>	<b>設定数</b>		<b>達成数</b>	
<b>今後の方針</b>					

<b>2 誰もが快適に移動できる交通の利便性が高いまちを目指します。</b>					
<b>現状（課題）</b>	<p>区内に軌道系の公共交通機関がなく、主にバス運行が区民の重要な移動手段となっています。区バスは、利用者が伸びている路線があるものの全体としては横ばいとなっており、運行頻度やルートを改善するなどしていますが、効率的な交通システムの構築が困難な状況にあります。</p> <p>都市基盤となる幹線道路の適切な維持管理により、車両走行性の改善や歩行者の安全性向上、橋梁施設の長寿命化に努めています。</p>				
<b>課題解決策</b>	<b>目標</b>	平成 34 年度までに区ビジョンまちづくり計画に掲げた「交通の利便性の高いまちづくり」に向けた取り組みを進めます。			
	<p>区バスについては、車両 2 台をノンステップバスに更新して利便性を向上させるほか、国道 8 号を基軸とし、区内中心部や近隣地域へのアクセス機能や路線相互の乗換機能を高めます。</p> <p>国道 8 号バイパス全線供用後の現国道 8 号の安心安全な空間とにぎわいの創出を含め、道路空間利用形態については、地域・民間事業者が主体となって発足した「にいがた南区創生会議」で検討を進めます。</p> <p>早期の点検・補修により基幹道路と橋りょうの維持管理を実施し、さらなる長寿命化を進めます。</p>				
<b>主な取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区バス運行事業</li> <li>・ 国道 8 号を含めた道路空間利用形態の検討（にいがた南区創生会議）</li> <li>・ 基幹道路と橋りょうの適切な維持管理</li> </ul>				

<b>取組結果</b>	<b>主な取組の指標達成状況</b>	<b>設定数</b>		<b>達成数</b>	

今後の方針

## 3 農商工の連携が、新たな活力を生み出すまちを目指します。

現状（課題）

南区で盛んな果樹・切り花などの園芸や畜産の生産性を高めるために「食と花の銘産品」を指定し、市内外に広くPRを行っています。農業従事者の高齢化が進み、担い手が減少しているため、生産量は増加していない現状です。消費者と農業者の交流の場や農業体験の場を設定し、農産物「食と花」を大いにPRしていますが、来て見て買って食して楽しんでいただく取り組みや安心安全な農産物の生産とともに、農商工連携による食品の付加価値化を進める6次産業化の推進が求められています。

また、商店主の高齢化や後継者不足により廃業や空き店舗、更地が目立つなど、まちなかの活力が失われつつあることから、南区の商業の中心である白根地区商店街に元気を取り戻し地域商業の拠点として強化することが重要になります。伝統工芸品である白根仏壇・白根絞りに関しては、技術の継承が課題となっています。

目標

平成34年度までに区ビジョンまちづくり計画に掲げた「活力のある魅力的な農業を活かしたまちづくり」、「いきいきと働けるまちづくり」に向けた取り組みを進めます。

課題解決策

南区お土産アイデアコンテスト入賞アイデア等の事業化や展示・販売の支援を行うほか、南区特産のルレクチエを地元NPO法人与協働で新たにブランディングを展開し、南区の風土と歴史とを組み合わせたストーリーづくりなどを通じて知名度と販路の拡大を図ります。

農業・商業・工業の連携による6次産業化・12次産業化への取り組みを支援し、農業活性化センターや食品加工支援センターを活用した地域ビジネスの展開や新たな雇用創出を図るとともに、空き店舗の活用や伝統工芸品のプロモーションに取り組みます。

廃棄処分されていた果樹剪定枝のバイオマスとしての活用について引き続き検討するとともに、高品質な米を生産するため、たい肥散布の推奨を進めます。

国家戦略特区の規制緩和を活用した農業者の新規参入や、特定事業者の事業拡大を支援します。

主な取組

- ・南区お土産アイデアコンテスト入賞アイデア等の事業化支援（展示・販売）
- ・南区ルレクチエブランディング事業
- ・白根仏壇プロモーション
- ・資源循環事業
- ・国家戦略特区の規制緩和を活用した新たな特定事業者の掘り起こし
- ・商店街の空き店舗等の活用

取組結果

主な取組の指標達成状況

設定数

達成数

今後の方針	
-------	--

#### 4 大凧が舞い、獅子が跳ね、ル レクチエが実るまちを目指します。

現状 (課題)	<p>歴史と伝統を誇る白根大凧合戦，重要文化財旧笹川家住宅（笹川邸），白根の町屋などの観光資源，財産を有機的に結合し，南区の魅力をさらに磨きあげ，交流人口の増大につなげるとともに，多彩な地域の宝ものを大切に受け継ぎ，保存を図る必要があります。</p>			
課題解決策	目標	<p>平成 34 年度までに区ビジョンまちづくり計画に掲げた「にぎわいと多彩な交流のまちづくり」に向けた取り組みを進めます。</p>		
	<p>白根大凧合戦，旧笹川家住宅（笹川邸），郷土芸能角兵衛獅子，その他地域固有の文化施設や伝統行事に，南区に優位性のある「農・食」を組み合わせた事業を展開するとともに，南区 PR 大使や SNS などを効果的に活用し，交流人口の拡大につなげます。 また，地域固有の文化施設や伝統行事などの魅力を向上させるとともに，保存と活用を図り次世代へ継承します。</p>			
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区公 PR ツイッターの運営</li> <li>・南区観光協会への支援</li> <li>・南区 PR 大使の活用</li> <li>・区内文化施設の集客連携（重要文化財 旧笹川家住宅・しろね大凧と歴史の館）</li> </ul>			

取組結果	主な取組の指標達成状況	設定数		達成数	
今後の方針					

平成30年度 南区長マニフェストに掲げた取組の指標一覧表

1 ひとつひとつがふれあい、安心していつまでも暮らせるまちを目指します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標						補足・参考指標	目標達成状況	評価
				項目(単位)	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標	H30結果			
1	地域総務課	地域住民との協働で、安心できる安全なまちづくりを進めるとともに、空き家の適正管理と活用を進めるため空き家対策プロジェクトに取り組みます。	・南区総合防災訓練の実施 ・自主防災組織の訓練実施 ・中学校防災教室 ・高校生災害ボランティア育成	総合防災訓練参加数(人)	1,148	1243	1855	2000		・南区総合防災訓練時に避難所運営マニュアルに基づいた訓練及び防災会での伝達訓練の参加者数。		
			・空き家セミナー(相談会)の開催 ・空き家調査 ・庁内体制構築と空き家利活用検討	自主防災組織全23組織の訓練実施 自治会別の空き家データの構築(自治会数)	-	-	127	240		・南区自治会数240		
2	健康福祉課	区民の健康づくりへの関心を高め、区民の特定健診受診者数を増やします。	・ミニドック型集団健診の実施(6会場7回実施) ・健診受診申込・PR等のコミ協への委託とまんがによる健診PR	ミニドック型集団健診受診者数(人) 血管年齢測定者数(人)		262	356	500		・H29特定健診対象者8,386人 ・H29受診者2,968人見込み、受診率35.4%見込み(H28:34.4%) ・H30:受診者3,112人、37.1% ・H31:受診者数3,270人、39.0%		
3	健康福祉課	地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みを推進します。	・地域の茶の間の充実 ・身近な生活支援体制の構築	地域の茶の間 設置件数(件)		52	58	64		・来年度施設数70を目標とする。		
4	健康福祉課	子育て中の保護者を応援し、子育ての不安解消を図ります。	・子育て支援リーダースキルアップ研修の開催 ・子育て広場の開催	子育て支援リーダーの人数(人) 新メンバーを年度内に1人増員する	16	17	18	19		・子育て支援リーダースキルアップ研修会を実施し、課題を上げて今後の活動に生かし、新たなメンバーを育成する。		
5	健康福祉課	障がい者(施設)が、地元の農産物を加工・販売することで、就労意欲を促し自立へ向けた取組を支援します。	・安定した加工品の製造 ・販路の確保 ・PR手法の検討	販売店舗の数			16	17		・販路の支援		

2 誰もが快適に移動できる交通の利便性が高いまちを目指します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標						補足・参考指標	目標達成状況	評価
				項目(単位)	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標	H30結果			
6	地域総務課	区内の生活交通を維持するとともに、より利便性を高めます。	・区バス運行事業 ・住民バス補助	区バス利用者数 乗合タクシー利用者数 利用者数(人)	24,150 2,218 計26,368	26,452 2,170 計28,622	26,675 2,735 計29,410	26,800 2,750 計29,550				
7	建設課	国道8号白根バイパスの平成30年度全線供用後の現国道8号の道路空間利用形態について検討を進めます。	・にいがた南区創生会議(まちなか活性化部会)で地域、民間事業者と一緒に検討。	検討会の回数			10	10		・にいがた南区創生会議(まちなか活性化部会)で利用形態を取りまとめる。		
8	建設課	道路・橋りょうの計画的な整備・維持補修を早期に実施し、住みよいまちづくりに努めます。	・上半期(4~9月)の発注率向上のため、定期的な工事発注状況の確認と予算執行管理の実施。	上半期の工事発注率(%) (発注件数/当初予定件数)	77 (※工事予算ベース)	87 (※工事予算ベース)	78	75以上 (H29目標75以上)		・1回/毎月、発注状況の確認と予算執行管理の実施(平成30年度は工事発注件数ベースの発注率)		

3 農商工の連携が、新たな活力を生み出すまちを目指します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標						補足・参考指標	目標達成状況	評価
				項目(単位)	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標	H30結果			
9	産業振興課	農業・商業・工業の連携により農業の6次産業化・12次産業化を推進し、地域産業の活性化や雇用の創出を図ります。 併せて、「新潟・白根仏壇」の伝統工芸技術の継承と後継者育成を推進します。	・南区ビジネスプランコンテスト ・南区ル・レクチェブランディング事業 ・白根仏壇プロモーション	南区産農産物や伝統工芸を活かして開発し販売開始された新商品数				5		・南区お土産アイデアコンテスト入賞アイデア商品、他		
			事業実施に係る新商品、お土産等の展示・販売・PRの回数				10		・南区お土産アイデアコンテスト入賞商品の展示・販売 ・ル・レクチェウォーター等のプロモーション ・白根仏壇新商品のプロモーション			
10	産業振興課	消費者に安心・安全な農産物を届けるために、環境保全型農業を推進します。	・資源循環事業 ・環境保全型農業直接支払交付金事業 ・多面的機能支払交付金事業	堆肥散布面積(%) 田んぼダム実施面積(%)	97 2,571	112 2,834	108.5 3,065.5	120 3,100		・たい肥施用面積とする。 ・南区水田面積:5,606% (土地改良区賦課面積)		
11	産業振興課	南区の地域活性化と観光振興のため、国家戦略特区の規制緩和を活用した農業者の新規参入など、ニューフードバレー構想の取り組みを推進します。	・新たな特定事業者の掘り起し ・特定事業者の事業拡大支援 ・国家戦略特区概要の戦略的情報発信	候補事業者の選定(件数)			2	2		・H28年3月、南区に「特定農業法人株式会社JR新潟ファーム」が誕生 ・H28年3月、新潟市と東日本旅客鉄道株式会社新潟支店は「食に係る地域活性化連携協定」を締結		
12	産業振興課	商店街の元気とまちなかの活性化を目指します。	・南区拠点商業地活性化推進事業計画の推進 ・みなみらいプロジェクトとの協働 ・空き店舗及び空き家の有効活用	空き店舗及び空き家の活用数(件)				3		<空き店舗活用事例数> H27:6件、H28:5件、H29:2件		

4 大風が舞い、獅子が跳ね、ル・レクチェが突るまちを目指します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標						補足・参考指標	目標達成状況	評価
				項目(単位)	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標	H30結果			
13	地域総務課	区の特つ広報媒体をフルに活用し、区政情報や、区の魅力などを効果的に発信していきます。	・区役所だより発行事業 ・区のホームページの運営 ・区公式PRツwitterの運営 ・市政情報モニターの運営	区の年間欄入れ数(件)	- (10)	- (16)	56	60				
			区公式PRツwitterフォローワー数合計	-	-	1,452	1,600					
14	産業振興課	南区の農産物や観光資源を活用し、観光イメージの定着を図りながら交流人口の拡大を目指します。	・南区観光協会との連携 ・観光農園とレストランとの連携 ・しろね大風と歴史と館等観光施設との連携 ・南区PR大使の活用	南区観光協会ホームページアクセス数(件)	291,915	297,729	316,317	320,000		(参考フォローワー数) サポーターズクラブ 1,352、マリンピア 1,242、いわむろや 650		
			南区観光協会Facebookフォローワー数(件)	906	1,209	1,494	1,600					
15	地域総務課	文化施設(重要文化財旧笹川家住宅・しろね大風と歴史の館)の一体的な管理及び活用を努め、利用の促進を図ります。	・魅力をPRするイベントの実施 ・しろね大風と歴史の館の管理	重要文化財旧笹川家住宅 しろね大風と歴史の館 入館者計(人)	6,944 17,654 計24,598	5,859 22,649 計28,508	5,050 18,576 計23,626	6,000 19,000 計25,000		・しろね大風と歴史の館(H29年度より地域課所管)		